



富貴寺や熊野磨崖仏、ボンネットバス…

豊後高田名物 人形焼きに



【豊後高田】豊後高田市内の観光名所をかたどった人形焼きができた。生地に「特産の薬草系タネゴロツク(香々地長命草)を練り込んでいる。商品名は「人形長命焼」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

地元企業や団体が協力、開発

特産の香々地長命草練り込む

香々地長命草は、生地に香々地長命草を練り込んでいる。新しい豊後高田の名物菓子に」とPRする高梨大輔代表三菓子禅高田屋

豊後高田、国東両市でつく「大観瀾日本遺産推進協議会」(事務局・豊後高田市、教務と、菓子禅高田屋)同市金谷町)が共同で開発した。豊後高田らしい菓子を生み出すことで、協議会が富貴寺大坐や熊野磨崖仏、昭和の町の街並み、ボンネットバスなど名所や名物をモチーフにした各種の生地の金型を制作。高田屋に金型を使った人形焼き作りを依頼した。長命草は市内の香々地地域で栽培され、健康食品として注目されている。地元の名産品を地産・生地に練り込んで、特色を出した。中身のあんは、つぶあん、こしあん、抹茶、カスタードの4種類にした。高田屋の高梨大輔代表は「形がしっかり出る焼き加減に苦労した。抹茶のような長命草の風味も生かすことができて、おいしい菓子に仕上がった」と手応えを感じている。人形焼きは6個入り1100円(税込み)から、高田屋の店舗や市内のスーパーで販売している。市のふるさと納税の返礼品にも採用されている。

協議会は長命草を使用した蒸留酒「フランク」を国東市半島の企業と開発するなど、国東の企業と開発するなどの商品開発に力を入れている。事務所の松本卓也さんは「長命草をはじめ多くの魅力的な素材がある。今後もういっすうアップを増やして地域の魅力を伝えていきたい」と話している。

(小田原大園)



〔問①〕記事の中から答えを見つけて（ ）の中に書きましょう。

（ ）や熊野磨崖仏、昭和の町の（ ）など豊後高田市の名所や名物をモチーフにした人形焼きは（ ）と名付けられた。また、人形焼きの生地には練り込まれている（ ）は市の特産で、“香々地長命草”とも言われ、健康食品として注目されている。

〔問②〕以下の4つの文章のうち、この記事に書かれている事実として正しいものを1つ選んでください。

㊦：人形焼きは6個入り1100円（税込み）からで、菓子禅高田屋の店舗や市内のスーパーで販売されている。

㊧：菓子禅高田屋が豊後高田市の名所などをモチーフにした金型を制作し、人形焼きを開発した。

㊨：人形焼きのあんの種類は、つぶあん、こしあん、カスタード、チョコレートの4種類にした。

㊩：「六郷満山日本遺産推進協議会」は蒸留酒クラフトジンを豊後高田市の企業と開発した。

答え： _____

〔問③〕豊後高田市では、名所や名物をお菓子のデザインとして活用していますが、これは地元の魅力を全国に伝えるために、どのような効果があると思いますか。あなたの考えを書いてください。